

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

乗客骨折でも事故防止より「ワンマン優先」?!

3 / 16 太東駅での転倒・骨折事故の経過

◎事故は13時32分ころ外房線太東駅で発生
◎列車は131系2両編成、上総一ノ宮行

- ▷列車は所定時刻より6分遅れて駅に到着。
- ▷停車時分を経過した後、運転士が乗降終了を確認してドアを閉めた。
- ▷ドアが閉まるタイミングで降車しようとした乗客の荷物にドアが引っかかり転倒した。
- ▷運転士がモニターを確認したところ、倒れた乗客を見つけた。再度ワンマンスイッチでドアが開けられる状態にして救護に向かった。
- ▷救護中に駅員（JESS社員）が来たので、その後は駅員が対応した。
- ▷列車は所定時刻より9分遅れて駅を出発。
- ▷倒れた乗客は救急車で病院に運ばれた。

動労千葉は4月8日にJR千葉支社との団交を行い、3月16日に外房線・太東駅でワンマン列車から降車しようとした男性が骨折した事故について追及しました。

乗客骨折よりワンマン優先するな！

乗客が転倒したのは2両編成の後方車両、一番後ろのドアです。車掌が乗務していれば見えなかつた事故なのです。ワンマン運転でなければ起きなかつた事故なのです。会社は団交で、運転士は規定通り対応しており、「全く問題ない」「乗客が悪いわけでもない」と回答しました。

ワンマン運転強行で事故を引き起こした会社
に、すべての責任があることは明らかです。し
かし、「ワンマン運転で安全は確保されている」
と居直っています。その一方で、「今回のよう
な事故はまた起こりうる」と認めています。
乗客の骨折させてでもワンマン化を優先する
など絶対に許されません！

また、プレス発表しないことについて、「社
内の状況を加味した」「内容は言えない」と回
答しました。運転士のミスは些細なことでも公
表するのに、ワンマン化推進のために都合が悪
いことは隠ぺいする。あまりにも卑劣です。

ただちにワンマン運転の中止を

会社が回答した対策は、「運転士に車内放送
でドアが閉まる案内をさせる」ことです。また
運転士だけに負担と責任を押しつけています。
ワンマン列車も通常列車と運転時分は変わり
ません。すでに運転士の取り扱いが増え、半自
動ドアのために乗降がスムーズに行かないこと
で、何もなくても遅れが続く状態です。

今回は委託駅とはいえ駅員がいました。無人
駅で同じ事故が起こり、夜間などで運転士が気
づかなければ、乗客がずっと放置されることに
もなりかねません。ワンマン運転によって乗客
が骨折するという重大事故を起こした以上、会
社はただちにワンマン運転を中止すべきです。